



シャン、シャンと鈴の根が響きわたる傘踊り



25年ぶりに復活したユニークな厄よけ行事「ホトホト」



住田茉也乃さん（黒坂小学校2年生）

下級生に教えてあげたい

学校で傘踊りや銭太鼓を楽しく踊っています。今ではどちらも上手に踊ることができるようになりました。上級生になったら下級生に踊り方を教えてあげたいです。

になりましたが、新しい黒坂小学校では「両校の伝統を引き継いでいこう」と、現在でも全校児童が傘踊りや銭太鼓の伝統文化を継承しています。同校の青戸哲範校長は「文化を受け継ぐということはとても大切なことです。多くの人に踊りを指導していただくなど地域とのきずなも深まりました」と話しています。

25年ぶりに復活

伝統行事「ホトホト」

その年に厄年を迎えた人の厄を払う伝統行事の「ホトホト」が、一昨年、菅福地区で25年ぶりに復活しました。

「ホトホト」は神様が扉をたたく音といわれ、数え年で60歳の還暦や42歳の厄年を迎えた人の家に厄よけの品物を届

け、お礼の品物を受け取って帰る時に厄がつかないように水をかけて神様を見送るユニークな厄よけ行事です。

地域の文化を

次代に伝えたい

菅福地区の一部で25年前までは行われていましたが、地域の担い手が少なくなつたことから廃れていきました。

「ホトホト」を復活させ、地域の活性化につなげようと思いついたのが西村文作さん（福長）を始めとする地域の皆さんたち。代表の西村さんは「復活させ、本当に良かったと思いました。当時のところを知る人が少なくなりましたが、地域の良き伝統を次代に伝えていきたいです」と話していました。